

=市史編さん便り=【15号】令和4年6月22日(水)発行。

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

◎学制 150 年企画展

「学校資料から見える世界」

来月7月15日(金)～9月26日(月)まで9時～17時に高知県立公文書館(高知市丸ノ内1丁目1番10号)1階展示室にて「学校資料から見える世界」と題して学制150年企画展が開催されます。

旧土佐清水市立大津小学校の学校資料も、高知県学校資料を考える会の指導のもと、土佐清水市郷土史同好会等の地元郷土史研究団体と当教育委員会生涯学習課が協働でリスト作成や中浜小学校民具歴史資料収蔵スペースに移設を行いました。

今回の展示では、『学校日誌(明治30年～昭和13年)』『学校沿革史(明治32年～昭和49年)』『学校要覧』『学校文集』『叶崎だより』等々たくさんの地元学校資料が展示される予定です。

高知市へ行かれる際は、是非お立ち寄りいただき、ご覧いただきたいと思えます。きっと学校資料の重要性があらためて認識できるよい機会になると思えます。

学制150年企画展
学校資料から見える世界
令和4年7月15日(金)▶9月26日(月)
9時～17時
高知県立公文書館 1階展示室
入場無料

公文書館は、学校や役場などに残された記録を、地域地域で次の世代に引き継いでいく重要性について市町村に理解を深めていただく「市町村支援」の役割を担っています。地域に残されている学校資料も、当時の暮らしなど地域を知るための貴重な記録です。本企画展では、学校に残された資料を通じて地域の記録を未来に引き継いでいくことの重要性を伝えたいと思えます。

開催日時: 令和4年8月21日(日) 14時～15時30分
「学校日誌と学校文集～土佐清水市立大津小学校を事例に～」
講師: 高知県立公文書館2階研修室
申込: 電話・FAX・メールのいずれかで当館にお申し込みください。

学校資料から見える世界

地域の中心だった学校に残された資料には、住民によって時代や関わり方は違っても、「学校」という共通の体験の一端が窺えられ、若者や子どもにも伝え、引き継ぎたい地域の記憶が感じられます。私たちは、学校資料を地域の暮らしやつながりを見つめ直し、未来を考える材料と捉え、市町村における保存について考えていきたいと思えます。

自分たちが「学校」で使った文書や教材が、数十年経って地域を知る資料になります。そんな「学校資料から見える世界」をのぞいてみましょう。

土佐清水市立大津小学校には、学校資料が経年による虫食いや破損がひどく、展示が困難な状態です。

県民グラフ No.49 昭和40年発行(黒広朝誌)
開成門
寺子屋の祖業
県公報(複製)
高知県公報(巻頭)
土佐清水市立大津小学校資料
学校日誌(明治期)
学校文集

高知県立公文書館
Kochi Prefectural Archives
〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目1番10号
TEL 088-856-5024 / FAX 088-856-6014
E-mail 110202@ken.pref.kochi.jp
https://www.pref.kochi.jp/110202/

国重要文化財・吉福家住宅の視察

-公益財団法人・文化財建造物保存技術協会-

昨日 21 日 (火) 国重要文化財・吉福家住宅の建物の老朽化に伴い、その修繕のための意見を伺うため、大阪淀川区西宮原に事務所を置く、公益財団法人・文化財建造物保存技術協会の 2 名の職員の方に来訪していただき、建物の状況を確認していただきました。これを基に庁内にて協議し、可能な範囲でご報告させていただきたいと考えています。

指定されている建物は、主屋・納屋・釜屋・門屋の 4 棟ですが、主屋の状態は、シロアリを駆逐した跡が見えるものの、想定していたよりも保存状態は良いとのことでした。ただ、納屋と釜屋～門屋は、台風等が直撃した場合、最悪倒壊する危険も否定できず、できるだけ早めに修繕することが望ましいとのことでした。

【公益財団法人・文化財建造物保存技術協会】

- ・大阪監理事務所長 加藤修治氏 (1 級建築士)
- ・同事務所技術主任 澤田 拓氏

【生涯学習課】

- ・課長補佐 池内正樹 ・市史編さん室長 田村公利

